

令和 6 年 第 3 回 木曽広域連合議会 定例会 行政報告

令和 6 年 8 月 28 日

本日は、木曽広域連合議会 第 3 回定例会 を招集しましたところ、議員の皆様には、何かとご多用のところ、ご出席いただきありがとうございます。

また、日頃から木曽広域連合行政に対し、ご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

先月、7 月 17 日黒川ダムで 2 名の方が亡くなるという痛ましい車両水没事故が発生しました。将来ある看護学生と長年木曽地域に貢献いただいた木曽看護学校事務長に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

また、7 月には、昨今の異常気象の影響か、山形県で大雨特別警報が発表され、多くの河川氾濫や土砂災害が発生し、お亡くなりになった方もおられます。被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、犠牲となった方々に、心よりご冥福をお祈りいたします。

さらに、今月 8 日午後 4 時半過ぎには、宮崎・日南市で震度 6 弱の地震が発生し、気象庁は、南海トラフ地震の発生可能性が平常時より相対的に高まっているとして、同地震の「臨時情報（巨大地震注意）」を初めて発表しました。これを受け郡内でも南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている 4 町村は災害警戒本部を設置等して注意喚起しました。今後の大地震発生が心配されるところです。

さて、大相撲名古屋場所直前の、6 月 26 日から 29 日までの間、出羽海部屋木曽合宿が行われ、御嶽海関をはじめ、部屋の多くの力士の方にお越しいただき、県内の相撲クラブの子どもたちに力士が胸を貸すなど、1,000 人を超える地域の方々と交流していただきました。御嶽海関は先の名古屋場所では勝ち越しまであと 1 勝でした。出羽海部屋力士の更なる活躍をご期待申し上げます。

また、8 月 8 日には、長野県等により、「木曽谷・伊那谷フォレストバレーキックオフフォーラム」が木曽町文化交流センターで開催され、引き続き同会場に於いて「人口減少対策に関する意見交換会」が開催されました。両会議には阿部知事が参加され、関係事業者や若者との意見交換会が活発に行われました。

本会議に上程しています令和 5 年度の決算は、7 月 24 日から 26 日まで監査委員による審査が行われ、審査意見書を受理いたしました。この間、中島代表監査委員と鎌倉監査委員には、終日にわたる審査業務に対し厚く御礼申し上げます。

それでは、5月定例会以降の各課の事業を報告します。

□総務課

- 令和6年度埋蔵文化財調査専門職員募集を継続するとともに、令和7年度職員採用試験の募集案内を行い、9月22日・29日に一次試験実施の予定で進めているところです。

□地域振興課

- 「水源の森応援隊」が5月25日に王滝村九蔵の森で開催され、愛知中部水道企業団管内の住民のみなさま等106名が参加し、水源域の森林整備作業を体験されました。
- 「なごや水フェスタ」が6月2日に名古屋市鍋屋上野浄水場^{なべやうえの}で開催され、木曽地域からは郡内6町村と広域連合が出展しました。各町村ブースの協力によりデジタルスタンプラリーを実施し、41名に参加いただき木曽郡全体でのPRを行いました。また、森林環境譲与税に関するアンケートでは32名の方から回答をいただきました。
- 木曽地域交通網対策協議会総会を6月11日に木曽町において開催しました。総会終了後、飯田国道事務所、木曽建設事務所より令和6年度における木曽地域の道路整備について説明を受けました。
- 6月12日、13日に食を起点とした都市部若者女性プロモーションとして料理人などに木曽の食を知っていただくツアーを開催し、5名の料理関係者が参加しました。今後はツアーで撮影した画像等を活用して首都圏でのPRに取り組んでまいります。
- 木曽文化遺産活性化協議会総会を7月17日に木祖村村民センターで開催しました。終了後、木祖村郷土館の視察研修を行い、お六櫓の実演を見学し説明を受けました。
- 「木曽川親子源流探検隊」が7月27日に木祖村こだまの森を中心に開催され、一宮市内の親子60名が参加されました。味噌川ダム資料館の見学やイワナのつかみ捕り等を楽しんでいただきました。
- 「木曽三川と堀川・上下流をつなぐ交流会」が7月28日に木祖村で開催され、名古屋市副市長以下34名の市民が参加し、木祖村地域おこし協力隊と市民のみなさんとの意見交換を行いました。
- 7月30日に第2回木曽地域公共交通活性化協議会が開催され、木曽地域公共交通の再編に向けた検討状況について説明がされました。令和7年10月の運行開始に向けて、引き続き各分科会での検討を進めてまいります。

□森林整備推進室

○間伐実績が低迷する中、今年度末で事業期限を迎えようとしている「森林整備協定造林事業」の今後のあり方について、愛知中部水道企業団と協議を重ねてまいりました。事業期間の延長や助成対象事業の拡大等、制度改定を含めた次期事業計画に合意し、令和7年度から新たなルールのもとで事業を推進することになりました。詳細については、本日の全員協議会で報告をさせていただきます。

□健康福祉課

○町村木曽寮担当者会議を開催し、木曽寮の運営について広域連合、町村、木曽寮の3者で協議を行いました。今後も適宜会議を開催し、木曽寮の円滑な運営に向け協議を行います。

○成年後見制度に係る事務では、受任調整会議を行い3名の方の後見人候補者を決定しました。令和6年3月に弁護士事務所が木曽に開設され、後見人を担っていただいております。後見人の偏りが緩和されています。

□建設課

○7月11日、「長野県南部国道連絡会総会」が伊那市で開催され、長野県南部国道連絡会会長（今年度より2年間）に、私、木曽広域連合長が就任いたしました。また、事務局も木曽広域連合が担い、今月20日には第2回幹事会（事務局会議）を開催し、秋期の活動内容を協議いたしました。

○7月25日、「木曽地域治水対策協議会総会」が開催されました。総会后、学習会を開催し齋藤 国土交通省 中部地方整備局 木曽川上流河川事務所長より「木曽川の河川の現状と治水対策について」と題してご講演をいただき、関係者他、45名を超える皆様に研修いただきました。木曽地域の治水対策事業の整備促進にむけ、国、県への要望活動を更に充実させ、より効果的に展開してまいります。

○7月29日、「中部国道協会夏期提言活動」で上京し、石橋 林太郎 国土交通大臣政務官、中島 ^{なかしま}朗洋 ^{あきひろ} 財務省主計局次長と面談し中部5県の国道の更なる整備促進に向け提言してまいりました。また、地元選出国会議員の事務所を訪問し提言書を託してまいりました。

□情報センター

○木曽広域連合のシステム強靱化として内部ネットワーク再構築（情報系からLGWAN：統合行政ネットワークへの移行）を進めており、業者選定を行いました。年末までの移行を目指しています。

○「木曽広域連合 自治体 DX・ICT 利活用計画」については、「デジタル基盤活用推進事業」として、総務省・長野県の費用で 6 月よりコンサルタントの常駐派遣を受けてデジタル人材の育成と計画推進を行っています。

○具現化事業としては「ペーパーレス会議システム導入」による会議書類の電子化と「情報共有化事業」による回覧板・家庭への配布書類の電子化、ドローン座標・飛行ルートの設定事業の 3 事業について業者の選定・契約を行いました。

ペーパーレス会議システムについては 11 月議会での試行を目指しており、回覧板等の電子化、ドローン座標の設定は、1 月頃の実施・導入で進めています。

□木曽文化公園

○5 月 25 日（土）、26 日（日）の 2 日間、木曽文化公園にて 19 回目となる「楽器クリニック」を開催し、郡内の中学校、高校の吹奏楽部員及び一般参加者 90 名が、国内のトッププレイヤーから直接演奏指導を受け、技術のレベルアップを図りました。

○7 月 7 日（日）には、アウトリーチ事業として「^{タナバタ}Tanabata JAZZ-Night2024」を上松町「ひのきの里 総合文化センター」で開催しました。隣接の広場では、共催いただいた上松町商工会によるイベントも開催され、木曽郡内から多くの皆様に来場いただき、チケットは完売となりました。今後も郡内での様々な企画を開催してまいります。

○7 月 21 日（土）には、「^{バーテックス}Vertex 高校生ダンスコンテスト IN 木曽」を開催しました。今回初めて中学生によるエキシビションも行い、あわせて 12 組によるダンスパフォーマンスを披露しました。

○8 月 2 日（金）、3 日（土）には、プロジェクションマッピング「スマイルスクエア木曽」を創造の原で開催しました。また、ホールでは「木曽文化公園夏休み映画鑑賞会」を開催し、あわせて約 600 名の来場者の皆様にお楽しみいただきました。

□環境センター

○緑聖苑の火葬業務は、7 月末までに 134 名の（昨年比 9 名減）火葬を執り行いまいしたが、新型コロナウイルス感染症の受入れはありませんでした。

○環境センターの 7 月末までの実績は、し尿処理が 1,278 kℓ（前年度比＋25 kℓ）、浄化槽、農業集落排水が 3,538 kℓ（前年度比＋125 kℓ）とな

り、汚泥集約センターは、3,820 m³（前年度比－60 m³）を処理しております。

○環境センターでは、3年毎の精密機能検査業務を、汚泥集約センターでは、5年毎の経営戦略更新業務を締結し着手いたしました。

□環境課・木曽クリーンセンター

○例年春と秋の2回実施している、木曽地域廃棄物不法投棄防止対策協議会主催によります街頭啓発は、活動休止中のため、連合独自で6月20、21日に「木曽かめ君」を活用し、不法投棄撲滅の広報宣伝活動を管内一円で展開いたしました。

○6月6日、日本リサイクル協会によるプラスチック容器包装バール品質検査（分別基準適合物検査）が実施され、木曽管内の容器比率97.45%と品質の高いリサイクルが継続されております。引き続き住民へのリサイクルへの協力を呼びかけ、ごみ減量化に努めてまいります。

□消防本部

○「マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化に関する実証事業」については、8月9日（金）から約2か月間の予定で、実証事業を開始しました。

○7月17日（水）に発生した車両水没事故において、水没した車両から信州木曽看護専門学校を助けるため入水し、お亡くなりになりました木曽看護専門学校事務長に対し、8月9日木曽警察署において、警察署長感謝状とともに消防長感謝状をご遺族へ贈呈しました。

○本年1月から7月末までの火災出動は9件（前年比2減）となり、内訳は、建物が2件（6減）、その他の火災が7件（4増）となります。また、救急出動は1016件（前年137件増）となりました。

今回の提出議案であります、認定3件、報告1件、令和6年度補正予算が2会計2件、の全6件でございます。各議案につきましては、事務局長から提案し、その詳細につきましては、担当課長より説明します。

ご審議の程、ご理解を賜りますようお願い申し上げ、行政報告とさせていただきます。